

新型コロナウイルス感染症の5類移行について

先日5月8日に新型コロナウイルス感染症の法令上の位置付けが「5類感染症」に移行し、3年間に及び対応に一つの大きな区切りが付きました。これに伴い、臨時医療施設や成田ゲートウェイホテル、ザエディスターホテル成田といった宿泊療養施設なども役割を終えました。

一方で、外来対応医療機関の確保・公表や、入院調整に係る支援などを継続して実施していくほか、「新型コロナウイルス感染症相談センター」を設置し、発熱

された方や自宅療養中の方からの電話相談に引き続き対応していきます。

5類に移行したとしても新型コロナウイルス感染症がなくなるわけではありません。患者が一般的な感染症と同様に受診できる医療提供体制に向けて働きかけてまいります。また、この3年間で得た知見や教訓を生かして、今後想定される新たな感染症の発生にもしっかりと備えるよう取り組んでいきます。

定期接種を
受けましょう！

麻疹(はしか)にはワクチン接種が有効です！

5月12日付けで厚労省から「麻しんの国内伝播事例の増加に伴う注意喚起」が示されています。

5月11日現在

| 千葉県の発生状況 | |
|----------|-----------|
| 2019年 | 26(全国744) |
| 2020年 | 0(10) |
| 2021年 | 0(6) |
| 2022年 | 0(6) |
| 2023年 | 0(4) |

千葉県での発生は現時点において確認されていませんが、東京都、茨城県、神戸市などで相次いで発生しており感染状況を注視していかなければなりません。なお、県内で発生した場合は保健所で患者の積極的疫学調査を実施して対応するなど情報連携していきます。

麻疹は感染力が強く空気感染もするので、日頃からの麻しんワクチンを受けることが予防に最も有効とされています。期間内の接種をお勧めします。



詳しくはこちらの
ホームページで！



定期接種

1歳児と小学校入学前1年間の幼児が定期接種の対象となっています。(接種歴は母子健康手帳で確認できます。)

過去に麻疹と診断、確認されたことがある方は、免疫がついていると考えらるのでワクチン接種の必要はありません。

profile

1978年10月31日生、成田生まれ成田育ちの44歳。はくと幼稚園、成田市立吾妻小学校、吾妻中学校、千葉県立富里高等学校、ニュージーランド留学、高千穂商科大学卒業、明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科修了(公共政策修士)。1991年「少年の翼」で中国国際交流。高校在学中にニュージーランドPapakura High Schoolに1年間留学、ラグビー部(ナンバーエイト)、当時最高102mバンジージャンプ記録保持。大学時はヨット&サーフィン、趣味が高じて日本サーフィン連盟公認インストラクター、海上安全指導員、IT企業を経て予備校講師(現代文・英文法)。2007年成田市議会議員選挙1位当選(4期連続最トップ当選)、第41代市議会議長、第17代関東若手議員の会長などを歴任。自治会役員や吾妻中学校PTA会長、富里高校同窓会長、青年経済人として第33代成田商工会議所青年部会長、成田青年会議所などを通じて社会貢献活動に注力。2022年成田市長選に挑戦。2023年千葉県議会議員選挙初当選。妻と子ども2人、マルチーズ、トイプードル。

公式ホームページはこちら
ama-shin.net



主な役職

千葉県議会議員

- ・商工労働常任委員会 委員
- ・印旛沼水質保全協議会 顧問
- ・千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟
- ・千葉県資源エネルギー問題懇話会
- ・千葉県議会観光立県推進議員連盟
- ・千葉県議会空き家・空き地対策推進議員連盟
- ・千葉県議会動物愛護議員連盟



LINE 公式アカウント
友達募集中です！



千葉県 から拓く成田新時代！

あましんレポート



千葉県議会議員

雨宮しんご

Vol.01

4月9日に執行された千葉県議会議員選挙において初当選をさせていただきました。成田市議会出者として地域の課題解決はもろろのこと、地方政治における三元代表制の一翼として、県行政と活発な政策議論を交わしながら「千葉県から拓く成田新時代！」の実現に向けて全力で取り組んでまいります。これまで同様、お気軽にご意見・ご要望をお寄せください！

さて、任期がスタートし5月8日に初登庁、16日には臨時千葉県議会に出席し、初めての本会議と委員会に臨みましてので報告いたします。



千葉県議会議員
雨宮しんご

5月臨時会において最大の焦点となった事案は、令和5年度

臨時議会には、執行部からは補正予算案1件と条例案(一部改正)4件が提案されたほか、議会では、正副議長や正副委員長の選出などが行われました。議長 伊藤昌弘議員(佐倉市・酒々井町選挙区)、副議長 山本義一議員(八街市選挙区)が選出され、その他にも委員会や審議会などの人事が決まりました。

わたしは商工労働常任委員会に所属しました。経済政策や産業振興、企業立地、そして観光誘致促進など、成田空港の機能強化に合わせ、これからの成田市と非常に関わりが深い政策分野を所管する委員会となります。精力的に取り組んでまいります。

千葉県正副議長など
人事が決まりました

物価高騰の影響を踏まえ、制服や教材等の購入費の負担を軽減するため、特に影響が大きい高校1年生を対象に1人あたり1万円の給付金を支給するもの(所得制限なし)。

2 高等学校等新入生
臨時給付金
(予算額 6億円)

物価高騰の影響を踏まえ、習い事や体験活動などにかかる経費の負担を軽減し、将来を担う子どもたちが豊かな成長につながる機会を得られるよう、小学校1年生から中学校3年生までを対象に1人あたり1万円の給付金を支給するもの(保護者の所得制限なし)。

1 子どもの成長応援
臨時給付金
(予算額 54億円)

補正予算のうち県独自の取り組みとして、食料品など物価の高騰が続くなか教育費などの負担が大きい「子育て世帯への支援」となりました。

Q 雨宮しんごの質問と執行部からの答え A

Q1 対象に未就学児などを含めなかった理由は？

A 文部科学省の「子どもの学習費用調査」によると、学校外活動費(習い事等)の年間平均額は、未就学児が約9万円、小学生が約25万円、中学生が約37万円となっている。限られる県予算において優先順位を選定した。
また高校1年生については、入学後の制服や教材等の購入費の負担が他学年よりも大きいことを勘案し支援を拡大した。

Q2 1人1万円とした金額の根拠および妥当性は？

A 文科省同調査による未就学児から中学生までの学校外活動費の平均が約29万円となる。これに物価上昇影響分(消費者物価指数の上昇分)である3.4%を乗じた額である1万円を根拠とした。

Q3 対象にならなかった世代における市町村との連携は考えているのか？

A 市町村の中には「県が小中学生を対象に支援するのであれば、未就学児分であれば独自に支援可能なので検討したい」とする自治体も少なくない。(すでに千葉市、習志野市が表明)
今後も市町村と連携し、できる限り多くの方々に支援が届くよう取り組む。

Q4 支給方法や時期はいつ頃になるのか？

A 小中学生は住んでいる市町村を通して、高校生は通っている高校を通して給付される見込み。給付の時期は、小中学生は10月の児童手当支給にあわせるなど市町村によって対応が変わる。(なお、県の1万円支給は所得制限がないため、児童手当対象外にも支給されます。)
高校1年生についても時期は未定だが速やかに対応する。

優先順位とは？

子育てにお金がかかる年代に支援する事になったんだね！

雨宮しんごの視点

☑ 対象者の線引きには議論があった

財源に限りがあるため、支援対象者の線引きには難しい政治判断が求められます。SNSなどをはじめ、今回の施策については賛否様々なご意見が寄せられました。ですが、児童手当など子育ての給付金は中学生までを基本とするなか、高校1年生も支援対象に加えるなど、執行部とのやり取りにおいて住民の理解を得られるものと本議案に賛成しました。

☑ 取り扱う額の大きさ

今回の補正予算は、子育て支援の他にも、農業者、漁業者や医療機関、社会福祉施設などを支援するほか、ガス・電気を利用される中小企業などへの支援などで予算規模は209億円にもなりました。実に成田市の年間予算の約三分の一に相当する規模(一般会計)です。取り扱う対象者の多さ、額の大きさにも強い責任を感じながら、これからも丁寧かつ慎重に、そして活発に審査に臨んでまいります。

☑ 政策の意思決定を市町村に速やかに伝え、連携を図ること(要望)

初めての臨時県議会を経験し、市議会に約16年間在籍していた身として、県の政策決定はできる限り速やかに共有できる仕組みづくりの必要性を感じました。特に今回は臨時議会での補正予算が計上される急転直下での対応です。千葉県だけがスピード感のある対応をしても、これから6月定例議会を迎える市町村が県独自の支援策を受けて、上乗せ支援などを検討する時間はわずかしかありません。今回のことで当初計画が狂う可能性も孕みます。
その意味では、前もって市町村との連携を図り、今回の補正予算に呼応して各市町村が未就学児を支援するなど、支援の補完や拡大を計画的に進める体制を整備すべきだと思いました。
県の意思決定過程に市町村を絡めるようにすることで、より住民に寄り添った県政・市町村運営ができるようになります。執行部も理解を示してくれましたので今後の対応を期待したいと思います。

公立学校における学校外活動費の平均額(文部科学省調査)

| | |
|-----|-------|
| 幼稚園 | 約9万円 |
| 小学生 | 約25万円 |
| 中学生 | 約37万円 |

高校生の制服・教材費等

| | |
|-------|-------|
| 高校1年生 | 約26万円 |
| 高校2年生 | 約10万円 |
| 高校3年生 | 約6万円 |

